

平成 27 年 12 月 15 日  
J Aバンク新潟県信連

## 「にいがた農業応援プログラム」の創設について

J Aバンク新潟は、これまでも農業者（担い手）の多様なニーズに応え、サポートに取り組んでまいりましたが、この度、J A自己改革で掲げる 3 つの基本目標（農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化）を具体的に実現していくため、平成 28 年度から平成 30 年度の 3 年間における担い手への支援策をまとめ、「にいがた農業応援プログラム」として、パッケージで提供することを決定いたしました。

このプログラムは以下の 3 本を柱とし、担い手向け直接支援にかかる事業規模は約 280 億円（助成額 14.4 億円）となります。助成基準等の詳細は平成 28 年 2 月頃を目途に定めてまいります。これらの支援策も活用しながら、J Aグループ新潟として、J Aおよび中央会・連合会の総合事業力を発揮し、担い手への踏み込んだ支援に積極的に取り組んでまいります。

なお、取り扱いについては、平成 28 年 4 月より順次開始いたします。

### 1. 「にいがた農業応援プログラム」で掲げる 3 本の柱

- (1) 「にいがた農業応援ファンド」の創設
- (2) 担い手向け金融支援の拡充
- (3) プログラム推進・支援体制の構築

### 2. プログラムの内容

#### (1) 「にいがた農業応援ファンド」の創設

農業生産の拡大、農産物の加工・流通・販売の促進、農業を通じた地域活性化にチャレンジする担い手のあと一歩を応援するため、必要な資金の一部を助成する。

#### ○支援メニュー

- ・新規分野参入、新技術・新規作物導入等の今後地域のモデルとなる先進的な取組みに対する助成
- ・新商品開発、6 次産業化、販路拡大等への取組みに対する助成
- ・親元就農応援として、新たに子弟等が就農する農業者への助成
- ・地域ブランド化、農産物直売所の活性化等に対する助成

## (2) 担い手向け金融支援の拡充

金融負担軽減支援を通じて、担い手の所得増大等を後押しする。

### ○支援メニュー

- ・農業資金の借入れにかかる利子補給の継続
- ・農業資金の借入れにかかる保証料助成の拡充

## (3) プログラム推進支援体制の構築

多様化する農業の担い手の経営課題に応えるため、本プログラムを有効に活用する推進・支援体制を構築する。

### ○支援メニュー

- ・「JAグループ新潟担い手サポートセンター」の設置  
(中央会・連合会の共通的な部署として中央会内に設置)
- ・専門家等の活用による相談支援機能の強化

※ 資料：にいがた農業応援プログラム

以 上

<本件に関するお問合せ先>

JAバンク新潟県信連

農 業 部 担当：上村・高橋 TEL：025 - 230 - 2151

経営企画部 担当：桜井 TEL：025 - 230 - 2111



# にいがた農業応援プログラム (平成28～30年度)

---

平成27年12月



# 「にいがた農業応援プログラム」創設

～事業規模280億円・助成額14.4億円(平成28～30年度)～

農業者の所得増大と持続可能な農業経営の実現のため、農業生産の拡大、加工・流通・販売の促進、農業を通じた地域の活性化等の県内担い手の取組みに対する助成、金融負担軽減など、JAグループ新潟が連携し、総合的な支援を実施するもの

## 県内担い手の取組み

- 農業生産の拡大
- 加工・流通・販売の促進
- 農業を通じた地域の活性化

プログラム1

「にいがた農業応援ファンド」の創設

プログラム2

担い手向け金融支援の拡充

プログラム3

プログラム推進・支援体制の構築

# I. プログラム実施内容

## 1. 「にいがた農業応援ファンド」の創設

直面する課題の克服にチャレンジする担い手のあと一歩を応援し、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の実現に寄与することを目的としたファンドを創設する。

### (1) 内容

課題克服にチャレンジする担い手に、必要な資金の一部を助成する。

### (2) 助成額

5億円(3年間総額)

### (3) 助成対象事業

- ① 農業生産の拡大、② 加工・流通・販売の促進
- ③ 農業を通じた地域の活性化

## 2. 担い手向け金融支援の拡充

### (1) 「担い手支援資金(愛称:アグリ1)」の継続

利子補給・保証料助成により、当初3年間の実質金利を1%(保証料込)で提供するアグリ1の取扱いを継続する。

### (2) 保証料助成対象資金の拡大

現在実施している農業近代化資金に対する県農業信用基金協会保証料の助成を、以下の資金まで拡大する。

- ① 長期資金: 農機具ローン、アグリマイティー資金
- ② 短期資金: スーパーS資金、サポートA、アグリマイティー資金

《助成対象資金90億円×3年間(助成額9.4億円)》

## 3. プログラムの推進・支援体制の構築

### (1) 「JAグループ新潟担い手サポートセンター」の設置

担い手の多様なニーズに総合的に対応するため、中央会・連合会による事業横断的な担い手サポートセンターを設置する。

### (2) 専門家等の活用による相談支援機能の強化

担い手サポートセンターは、農業の現場に精通した専門家の活用により、担い手の相談支援に必要な体制を確保する。

## Ⅱ. 「にいがた農業応援ファンド」の創設

### 目的

農業生産、農産物の加工・流通・販売および農業を通じた地域活性化に取り組み、直面する課題の克服にチャレンジする担い手のあと一步を応援し、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の実現に寄与することを目的とする。

### 実施内容

担い手に対し、課題克服のための必要な資金の一部を助成する。

### 実施期間

平成28～30年度(3年間)

### 事業規模

約10億円

### 助成額

5億円(3年間総額)

### 助成対象者

助成対象事業において課題克服に取り組む担い手(個人、法人は問わない。)

### 助成対象事業

1. 農業生産の拡大
2. 加工・流通・販売の促進
3. 農業を通じた地域の活性化

# ファンドメニュー(助成内容)

## 1. 農業生産の拡大

○担い手自らの創意工夫による先進的な取組み、または今後地域のモデルとなる取組みにかかる農機等生産設備の取得費用への助成

(例)新規分野参入、新技術・新作物導入等にかかる農機具等生産設備の取得費の助成

○事業規模 5億円 ※事業規模は助成率40%として試算

○助成額 2億円

## 2. 加工・流通・販売の促進

○新商品開発、6次産業化、ネット販売等の販路拡大、およびこれらにかかる研究開発費等への助成

(例)新商品の試作、パッケージデザイン、マーケティング等にかかる費用等の助成

○事業規模 1.2億円

○助成額 0.6億円

・助成率 50%

・1件当たり助成額 最高1百万円

## 3. 農業を通じた地域の活性化

○新規就農応援

・新たに子弟等が就農する農業者に対する農業経費の助成

○事業規模 0.9億円

○助成額 0.9億円

・1件当たり30万円を1年間助成

○「JAグループ新潟営農・経済改革プラン」の推進助成

・地域ブランド化による差別販売への取組みに対する助成

・「生涯現役・一生農業運動」にかかる農産物直売所への出荷拡大、活性化に向けた取組み等に対する助成

(例)統一ブランドの生産費用、販売チャネル拡大にかかる費用、周知のための広告・PR費用等の助成

○事業規模 3億円

○助成額 1.5億円

・助成率 50%

・1件当たり助成額 最高1百万円

# Ⅲ. 担い手向け金融支援の拡充

## 目的

担い手の金融負担軽減を図ることで、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の実現を後押しする。

## 実施内容

農業資金への利子補給を継続するとともに、保証料助成対象資金を拡大する。

### 1. 「担い手支援資金(愛称:アグリ1)」の継続

利子補給・保証料助成により、当初3年間の実質金利を1%(保証料込)で提供するアグリ1の取扱継続(単年度16億円:一般枠13億円、農地取得枠3億円)

### 2. 保証料助成対象資金の拡大

現在実施している農業近代化資金(7億円)に対する県農業信用基金協会保証料の助成を、以下の資金まで拡大する。

- ・長期資金: 農業近代化資金 単年度10億円(当初5年間)  
農機具ローン・アグリマイティー資金 単年度54億円(当初3年間)
- ・短期資金: スーパーS資金・サポートA・アグリマイティー資金 単年度10億円(当初1年間、最長3年間まで継続可)

## 実施期間

平成28~30年度(3年間)

## 事業規模

270億円(助成対象資金90億円×3年間)

## 助成額

9.4億円(3年間総額)



